

## 資源管理型漁業推進総合対策事業\*

—天然資源、漁業経済調査(ヒラメ)—

檜山晃晴

### 目 的

紀伊水道東部(和歌山県側)に分布する天然ヒラメに関しては、これまで栽培主導型の観点で補足的に取り上げられた程度で、十分な調査がされていない。従って、資源管理に必要な生物特性値(パラメーター)は、ほとんど存在しない。また、管理対象漁業に選定された小型底曳網については、水揚統計の整備されている市場が少なく、漁獲内容、価格形成要因、漁家経営に関する情報も乏しい。そこで、この調査では、天然ヒラメを一つのテーマとして、狩猟型漁業から管理型漁業への移行を促すための、根本的な土台づくりを目的とした。

### 方法および結果

平成5年度和歌山県資源管理型漁業推進総合対策事業報告書(広域回遊資源)に詳細を報告した。

---

\*資源管理型漁業推進総合対策事業費による。